

職務経歴書

氏名 商標 太郎

(作成日：令和 3年 〇月 〇日)

ダイジェスト版 (A4・2枚以内・11ポイント以上)

1. 最終学歴 (〇で囲んでください。)

学士 (修士) 博士 その他 ()

2. 経歴年数 これまでの下記3. における職務経歴、及び、下記4. における大学院の履修期間の年数を記載してください。

※民間企業等、法律事務所又は特許事務所で法務一般に関する業務に従事した期間のみ記載してください。

※令和4年4月1日時点における見込みの年数を記載してください。

(a) 職務経歴 : 通算10年 0ヶ月

(b) 大学院履修期間 : 通算 2年 0ヶ月

(a)+(b) 計 : 12年 0ヶ月

適切でない記載例:

- 顧客相談業務
- 商品の品質管理業務

※法務一般に関する業務内容であるか不明であるため

3. 職務経歴

(1) これまでに経験した職務のうち、①法律事務所・特許事務所業務、②民間企業等における法務一般に関する職務について記載してください(具体的にどのような業務に関わっていたのかについて簡潔に記載のこと。担当時期及び当時の所属も記載のこと。)

平成20年4月～平成24年3月：訴訟等の紛争対応業務 (〇〇(株) 法務部 □□グループ)

和暦で記載してください。

平成27年4月～平成29年3月：売買・業務委託契約などの契約・取引法務業務 (●●(株) △〇事業部)

平成29年4月～現在 : 商標登録出願の作成・先行商標調査業務 (〇△特許事務所 △△部 ▲▲グループ)

(1) には「法務一般」に関する業務以外の職務経歴は記載しないでください。
なお、「法務一般」に関する業務に該当するかの判断は、従事していた業務の実質的な内容により行います。正規雇用・非正規雇用のいずれであるかは問いません。

(2) 弁護士・弁理士として業務に従事した期間について記載してください(事務所名及び業務内容を簡潔に記載のこと)

平成 年 月～平成 年 月:

平成 年 月～平成 年 月:

事務所名及び業務内容の記載例:

- 商標登録出願手続の代理 (▲△特許・商標事務所)

4. 大学院履修期間

大学院（修士・博士課程）の履修期間・研究内容を記載してください。

※大学院に進学実績がある方のみ記載してください。

平成18年 4月～平成20年 3月： ●■大学大学院法学研究科××学専攻（修了）

知的財産権法（主に著作権法）に関する研究

平成 年 月～平成 年 月

産業行政又は科学技術に関する研究のみ記載してください。

○産業行政に関する研究の例：法学研究科、法科大学院

○科学技術に関する研究の例：理工、生物等の技術系の分野

5. 主要取得資格

平成24年11月：TOEICスコア ×××点

令和 元年 9月：二級知的財産管理技能士（管理業務）合格

学歴がわかるよう以下のよ
うに記載してください。
「（修見）（修了）（中退）」

詳細版

年	月	学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等
		<p>※大学卒業からダイジェスト版に記載しなかったことも含めて記載してください。必要により欄が次ページにまたがっても構いませんので、できるかぎりわかりやすく具体的に記載してください。無理に簡潔に記載する必要はありません。業務経験が5～6年であれば2頁程度、10年以上であれば3～4頁程度になってもかまいません。</p> <p>※最終合格後、学歴、職歴、業績等を証明するための資料を御提出いただくこととなります。業績等を証明するための資料は経歴等により異なりますが、特許出願(特許公報)、学会論文、社内報等が考えられます。</p>
平成18年	3月	<p>●■大学 法学部 △△学科卒業</p>
平成18年 平成20年	4月 3月	<p>同大学大学院 法学研究科 ××学専攻 修士課程入学 同 同 修士課程修了</p> <p>○○について研究を行い、××の成果を得られた。 (研究内容、得られた成果を記載してください。)</p>
平成20年	4月	<p>○○株式会社入社 配属部署：法務部 □□グループ</p> <p>・紛争対応法務を担当しており、自社を原告として他の企業に対して訴訟を提起したり、反対に、提起された訴訟に対して対応をしていく業務を行っていた。訴訟となった場合には、企業の顧問弁護士と協力して、証拠の収集、準備書面の作成や証人との調整等を行っていた。</p>
平成24年	4月	<p>配属部署 総務部 人事・労務グループ</p> <p>・主に人事に関する業務を担当しており、採用・リクルート活動、人事考課、社員の退職に関する社会保険や税金などの手続を行っていた。</p>
平成27年	3月	<p>○○株式会社退社</p>

学歴、職歴、経歴、業績等は年月日の昇順に記載してください。

大学院の履修課程も研究内容によって、応募資格に掲げる経験として通算される場合がありますので、詳しく記載してください。

配属部署において、具体的にどのような業務を担当していたのかを主に法務関連の業務を中心に記載してください。

年	月	学歴、職歴、経歴、業績、資格取得等
平成27年	4月	<p>●●株式会社入社 配属部署：△○事業部</p> <p>・契約・取引法務を担当。社内の各部署が作成する売買契約、業務委託契約などの契約に際してその条項に法的な問題がないか審査をしていた。具体的には、契約の文言が明確であるか、関係法令に抵触していないか、将来紛争の原因となるような点がないかなどについてチェックをしていた。</p>
平成29年	3月	<p>●●株式会社退社</p>
平成29年 ～ 現在	4月 ～ 現在	<p>○△特許事務所入所 配属部署：△△部 ▲▲グループ</p> <p>・主に商標登録出願の作成業務の補助を担当し、クライアントから依頼のあった商標について、登録可能性の判断資料として、既登録先願商標や周知・著名商標の先行調査などを行っていた。</p> <div data-bbox="683 943 1206 1043" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>取得した資格については、業績等の記載の最後にまとめて下さい。</p> </div> <p><取得資格></p> <p>平成24年 11月 TOEICスコア ×××点</p> <p>令和元年 9月 二級知的財産管理技能士（管理業務） 合格</p>